

かもめのたより



2007年
1月1日発行
施設機関誌

新年号

第58号1月便



弥生王寿園利用者様の共同作品

「平成19年の年賀を祝う」

王寿會 理事長 石原愛子



お年賀
おめでとう
あけまして
おめでとう

皆様お元気でよいお年を迎えられましたか。
年の初めに何か今年はこのこと
をしてみたいとか、こんなところ
をなおしてゆきたいとか、目標を
きめて少しの努力でもいいから実
行してゆきたいですね。内的にも
外的にも厳しいことばかり起きて
いるこの頃の世の中で挫けてしま
いそうな日もあります。……こん
なことどころではない、もつとも
つと苦しい目に遇っている人々が
たくさんいると思えば、私なんか
幸せ者だと時々胸に手を当てて恵
まれた暮らしの中にある自分に感
謝しています。

同じ物の考え方でつまらなく
考えればつまらないし、よしこの
くらいは苦しみのうちではない、
と思えば耐えられることと思いま
す。昔と比べると耐える心がとて
も薄弱になってきています。頑張
ってやってみるとなんとか出来る
ものです。挫けずがんばりましょ
う。「悟る即ち立つ」：思いつい
たら直ぐやるの精神を養ってゆく
ようにしましょう。

去年は敬老会とみのりの会を併
合して行いました。とても良い会
が出来まして嬉しく思っています。
みなさんの協力のたまものと深く
感謝しています。王寿會はいつも
和氣藹々としていてとても嬉しい
です。まわりの人はみんな良い人
ばかりでこんな良いところは有
りません。利用者の方も機嫌よく
しておられ、介護の人々もまわり
の人々によく理解をして気を配っ
ています。こんなよい所に暮らす
ことが出来て幸せですね。これか
ら心新たにしていよいよ日々を過
ごすことが出来ますように年頭に
願いをこめてお祈りいたします。

「社会福祉法人としての責務」

王寿會 総合施設長 石原世光



新年明けましておめでとうござ
います。
遠州灘を渡る寒風を肌と感じ新
しい一年の幕開けを身の締まる思
いと期待を持って、元旦を迎えま
した。

王寿會の事業に寄せる地域の皆
様の期待に今後社会福祉法人とし
て目まぐるしく変わる制度に翻弄
されながらも、利用者が必要とさ
れる良質な福祉サービスの提供を
徹底追及し、更なる向上心を持ち
独自のサービス内容を追求し続け
構築していく所存です。

介護保険制度がスタートし、種々
なサービスがその変化の中に確実
に地域に定着していることは実感
として感じられるところではあり
ますが、サービスの浸透とともに
利用者の権利意識や、より以上の
サービスを求めるある意味「事業
者淘汰」の時代の波が社会福祉法
人王寿會の背中にも責任という大
きな重みとして感じられ、その重
みを今後の糧として更なる進化を
余儀なくされている。

今般、制度改正の主旨が事業者
にとり常に厳しい改革の方向に向
かう中、将来の制度改革を予測し
てもなお、より以上努力を必要と
する時代へと向かっていく事であ
る。

介護報酬の変化に伴い、いかに
限られた資源の中で良質のサービ
スが提供できるか今後の課題はそ
の一点に尽きると思う。人と人と
の関わりの中で技術面のサービス
だけではなく、いかに心豊かな人
間関係の中で利用者との信頼関係
を構築していけるか、また、安定
経営の中にあっても地域が必要と
するサービスを事業者が選択する
のではなく、利用者が必要とする
サービスを各々のサービスの連携
の中で継続して提供をしていく事
が社会福祉法人として、ただ一般
の事業者のように利益を追求する
のではなく、安定的な経営と地域
が求めるサービスを適切な支点を
明確にし、どちらにも片寄らない
事業運営を目指して行く。しか
しそれは、至難の選択になるであ
ろう。今後、社会福祉法人がサー
ビス事業者の先頭を走る、いや、
今後の介護保険の事業者として生
き残るには、社会福祉法人の責務
と企業経営者に求められる、先を
見つめた戦略計画を先の見えない
混乱の中より、一層の進歩した事
業形態の確立にすることが不可
欠となる。

「幸せをエネルギーに」

王寿會 事務長 平尾 本子



初春のお慶びを申し上げます。昨年中に賜りましたご厚情に厚く感謝いたしますとともに、本年も変わらぬご指導のほどよろしくお願いいたします。

昨年は、「納涼祭」「敬老・みのりの会」など当法人の行事に於きまして、ご利用者のご家族の皆様・ボランティアの皆様をはじめ多くの方々のご協力を頂き、楽しい時間を過ごさせて頂いていただきましたことに心よりの御礼を申し上げます。皆様方との楽しい思い出は、私の宝物です。

私の趣味はいろいろありますが、特に好きなのが音楽に関する事です。音楽を聴くのも好きですし、演奏したり、踊りを踊ったり、歌ったりすることも大好きです。昨年は、納涼祭の中で「大崎バンド」さんの生演奏をバックに「リンゴの唄」を歌う機会を与えてくださり、王寿會で仕事をさせて頂いてお陰と心より感謝いたしております。人間は、自分が好きなこと、嬉し

い・楽しいと思うことをしている時は疲れを感じないもので、忙しい中でもかえってそれが、やる気となって元気が出るもののように育ててくれた両親に心よりの感謝をしたいと思えます。幸せだと感じる心は、人間にエネルギーを与えてくれます。これからも、常に前向きに新しいことに挑戦しながら、明るい心ですごしていききたいと思えます。

今後、少子高齢化が進みご利用者の皆様・ご家族の皆様にとっても大変な時代かと思えますが、一人で悩まず、明るく前向きに過ごしていただきたいと思えます。王寿會のサービスが、そのお役に立つことが出来ればと職員一同「誠心誠意」務めさせて頂いてきますので、今後ともよろしくお願いいたします。

「出会いを大切に」

王寿會 施設部長 石原 晴代



皆様、明けましておめでとうございませう。

王寿園の目の前には、遠州灘の大

海原が悠然と広がっています。元旦には毎年のように、何百人という人達が、初日の出のその一瞬を見るために集まって来ています。多くの人々の眼（心）が一つの太陽に注がれ、皆一団を合わせている光景を見ますと、大自然の力の偉大さに感動すると共に、生きている実感と感謝の気持ちが湧いて来ます。

王寿會も、12年目の元旦を迎え、この間延べ230名余りのお年寄りが王寿園に入所されました。相談員という役職柄、入所時に必ず立ち会わせていただいておりますので、皆様と又そのご家族様と関わりをもたせていただきました。

入所第1号のH様には話の内容を聞き取れず、よく怒られてしまいましたね、ごめんなさい。64歳で入所されたO様はあまりにも若いので付き添い者と間違えてしまいました。I様は、入所される前の苦労話をして下さり、涙した事を思い出します。福祉のあり方やご意見をいっばい教えて下さったN様。息子や嫁の愚痴ばかり言っていたT様。ご家族にお手紙を書いて郵送したのですがちっとも返事が無く悲しい思いをしてしまったM様。旅行で背中を流し合ったK様。自分の家を残してきたので何回も施設を黙って出て行ってしまい捜索願が出てしまったY様等…。懐かしい思い出が走馬灯

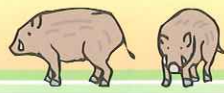
のように蘇ってきます。又ご家族様との数々の思い出もいっばいで感極まる想いです。この12年間沢山の皆様とお会いでき、関わる事ができたことが、私の心の支えになっています。本当に感謝しています。

昨今、人と関わる事が少なくなったり、自分から避けてしまったり、自分の殻に閉じこもってしまう人が増えたように思われるのですが如何でしょうか。人は多くの人と出会い、助け合ったり、傷つきあったりと切磋琢磨しながら、関わりを持ちながら生きること、成長していけるかと思えます。

私も「素晴らしい人々に出会えるように、又素晴らしい自然の中で仕事させて頂いてるので、自然を大切に！多くの恵みをいただけるように！」と、初日の出にお願いをしたいと思います。今年もどうぞ皆様のお力をいただきますよう、心より御願ひ申し上げます。

平成19年元旦、皆様にご多かれとお祈り申し上げます。





敬老・みのりの会

百歳になった、おばあちゃんへ 百歳おめでとう!!



▲小椋とくゑ様の四男 小椋俊夫様
小椋美也子様

小椋 美也子
(豊田市在住・孫)

私達、家族はおばあちゃんが百歳になるという事で王寿園に行きました。

「敬老・みのりの会を祝う」

王寿會 理事長 石原愛子

皆様、「敬老の日、おめでとうございませう！」
お元気な皆様にお逢い出来て心から嬉しく思います。ニコニコと顔をほころばせて私のつたないお話しでも合槌を打って聞いて下さってほんとうにうれいませう。

一人一人手をとり合って長い人生の思い出語り合えたら良いのに、と思いますが、それもままならず、体の丈夫な間は精一杯働いて世の為、家の為、努力と辛抱を重ねて生きてこられた皆様、今日は「敬老の日」、声を大きくして「ありがとう！」と叫びたい気がいたします。

王寿會は十一年の歳月が経ちました。創始者石原四郎が生涯願っていた「和を以て貴しとなす」の概念がようやく染みついて来たように感じます。いつお逢いしてもみんな仲良くしているように見受けられます。

「仲良きことは美しきかな」の武者小路実篤さんの絵にいつも心を惹かれます。仲の良いことは幸せの登竜門です。朝に祈り、夕に感謝し、心にゆたかりとゆたかりを持って之からも毎日をもたのしく過ごしましょう。

今年「敬老の日」と「みのりの会」を併合して行うことになりました。気持ちを層盛り上げてたのしい時間をすごしましょうね。表彰式が有り、祝賀の舞など多彩な催し物があります。精一杯若さと元気を頂きましょう。

おばあさんの話では、「すごく元氣だ」と聞いていたのですが、内心、年相応にベッドで寝ているのかと思っていました。おばあちゃんを見るなりびくびくと食べる姿。なんて、元氣というより逞しいんだらうと思えました。私とおばあさんがおばあちゃんを囲んで話をしながら笑っていました。私もおばあちゃんもおばあちゃんの声を出して笑っているのが嬉しくて三人で何がおかしいのか分からないままお腹の底から笑いました。

元氣なおばあちゃんを見て、お父さんも嬉しそうでした。また、百一歳の誕生日を楽しみに会いに行きます。

東 愛 知 新 聞
2006年(平成18年)10月2日(月曜日)

長寿者へ特製メダル

王寿會が敬老会と文化祭

社余福祉法人王寿會「老会」と文化祭「みのりの会」を開いた。
〔石原愛子理事長〕は1日、豊橋市小松原町浜の特別養護老人ホーム「ハウス、ショートステイ利用者」と関係者ら約180人



石原理事長(左)から祝辞を伝達される100歳の小椋さん=王寿園で

が参加。長寿者表彰や舞踊観賞、利用者職員らの演芸披露などで楽しい1日を通じた。石原理事長、石原世光(総合施設長の祝辞後、長寿者を紹介。「特別長寿」として91歳以上の利用者)の17人に職員から銅メダル、喜寿と傘寿、米寿、卒寿の23人に銀メダルをそれぞれ授与したほか、ケア最高齢の中村ちづさん(95)、白寿の田辺をぬいさん、最高齢「王寿」の小椋とくゑさん(100)、荻原まつへさん(100)には特製金メダルを贈り、長寿をたたえた。また田辺さんには市長から、小椋さんには総理大臣からの祝辞伝達も行われた。敬老会後の「みのりの会」には、豊橋東ライオンズクラブ(佐藤信会長)も協力。同クラブ会員、西川清歌さん率いる清歌会の芸能特別披露のほか、利用者家族や職員らのステイ発表も行われた。施設内には利用者の習字、はり絵、塗り絵などの作品も飾られ、訪れた人の目を引いていた。(田中博子)

祝賀の舞



祝辞

ケアハウスくろしお 鈴木 和伸



今日は、敬老・みのりの会の式典で長寿祝の方々、誠におめでとうございます。私も、当ケアハウスに入居して早いもので11年になりました。今日まで来られたのは、二筋に理事長をはじめ職員の方々の適切な指導の賜物と思っております。厚く御礼申し上げます。

11年を振り返れば、じくじくとなつた方々、色々な事情で退居された方々の事等、色んなことが思い出されます。さて、私事でございますが、入居以前より(確か昭和55年頃)、糖尿病と診断され、又平成2年に脳梗塞にて3ヶ月入院、平成4年に定年前に会社を退職、病院通いをして居りました。緑内障の為、右目失明、自動車の運転も出来ず、不自由な生活をして居りました。

当ケアハウスに入居して、規則正しい生活、カロリーと栄養を考えた食事に糖尿も大分良くなりました。バス停まで、寺沢、小島方面まで歩く事が出来ましたが、昨年暮、左足と腰痛がひどく、市民病院の整形外科で診てもらった所「脊椎管狭窄症」と診断されました。初めて聞く病名で先生に色々聞きました所、背骨(なる脊椎管)の空洞(脊椎管)が狭くなるのが原因だ。分かりやすく言えば脊椎管の中の血管が狭くなること。手術すればなおりますか?と聞いたら進行を止めるだけで直るのには、手術すればなおすし様子を見ますと、手術は見合わせ現在に至っております。幸い先生の言う痛みが今のところない為、毎朝5時過ぎに1階に降り廊下を30分、40分歩いております。病気に負けたらどうなるかと頑張っております。

少子高齢化の進む現在の世の中、政府も改革改革で年金も少しずつ減り、税改革もきびしく先行不安ではあります。それに親が子を殺す、子が親を殺す、私共の考えられない事件が数多く発生しております。私達は健康第に考え、平穏で健康であることが一番幸せであると思っております。

取り留めない話をしましたが以上で敬老・みのりの会の祝辞といたします。平成18年10月1日 有難うございました。



利用者皆様の作品



素敵な作品が今年も多く製作されました。

皆さんそれぞれの思いを込めた作品はどれも輝いています。



総りの秋 王寿園の秋

豊かな笑顔の収穫です！来年はどんな笑顔を実らせますか？

敬老・みのりの会のボランティアに参加して

中部福祉専門学校2年 篠原 享子

私はこの度「敬老・みのりの会」のボランティアに参加させて頂き、貴重な体験をさせていただきました。九月中旬に第三段階実習でお世話になっていた事もあり、準備の段階からお手伝いさせて頂き、施設の職員の方々の目に見えない努力やご苦労というものを肌身に感じました。

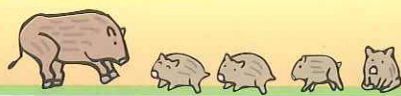
当日は、利用者の方が施設内で行われているイベントに参加できる様に介助のお手伝いをさせて頂きました。私が心がけたのは安全に過ごして頂くのはもちろんの事、いかに楽しい時間を過ごしていただけるかを考えながら笑顔で接する事でした。

私は今回、「敬老・みのりの会」の施設行事のボランティアをさせて頂き、実習とは違った介護の仕事の大変さや、楽しさ・やり甲斐などを感じる事が出来ました。この経験を通して、又も、見直したり、考え直したりする機会となりました。



このボランティアを通して、こうした行事を成功させる為の準備などの裏方の仕事の大変さもわかりました。特に飾りつけなどが、色々工夫されていて、雰囲気作りの大切さも分かった様に思います。とてもいい経験が出来ました。ありがとうございました。

中部福祉専門学校2年 草野 百絵



ケアハウス
利用者様の作品



弥生デイサービス
利用者様の作品



芸能特別披露
西川流 清歌会



敬老・みのりの会
唱歌と舞踊

豊橋東ライオンズクラブ
会長挨拶



オカリナとピアノ伴奏による

唱歌



職員有志による
ペコリナイト



ピアノ伴奏
藤城深雪



オカリナ演奏
松岡加津代様



唄
平尾本子事務長

まずは関係者の皆様ご協力ありがとうございました。
今までの「敬老会」と「みのりの会」が合体し今年が第二回
という事もあり、バタバタした所もありましたが職員・ボラン
ティアの皆様の協力によりとても良いものとなりました。
私は去年、「みのりの会」の実行委員をやらせていただ
き、職員全員が協力し利用者が楽しめる物を一生懸命考えて
いたので、今年も実行委員一同力を合わせて良いものにしよ
うと頑張りました。今年から、敬老会とみのりの会が合体し
たので、限られた時間内に色々な出し物を披露する必要が
あり実行委員長を中心に内容を決めていきました。
掲示物では小松原・弥生デイサービスの利用者様の作品を
展示、特養では「稔りの秋 王寿園の秋」という名でご利用
者様、それを支える職員の写真を貼り大壁画を完成させま
した。タイトルの雰囲気づくりが出来たと思います。
尚、当日は生憎の雨が降りましたがボランティアの方が多
く来ていただけだったので盛り上がり、利用者様もいつもとは違
う雰囲気味わい、一年に二度の会を満喫できていたのではな
いかと感じています。
来年は今年の反省を生かし更に良い敬老・みのりの会にし
て行きたいと今から意気込んでいます。

敬老・みのりの会を終えて

副実行委員長 石原 篤志



上田恵美子様作品



王寿園のお節料理

管理栄養士 長谷川 憲子



王寿園のお正月は、12月28日のお餅つきから始まります。ケアハウスの元気な方々には、お餅をついたり、まとめたりしていただきます。お年寄りにとってお正月の楽しみはお餅を食べる事です。けれどもお餅は喉に詰まりやすく、特につきたてのお餅は喉に貼りつきやすく窒息の危険があります。見学にみえた入所の皆さんには小さく千切ったお餅を、あんこ・黄な粉・大根おろしに包んで、介護職員・ボランティアさんがマンツーマンで声掛けしながらゆっくり食べていただいています。皆さん満足そうな顔でニッコリされています。

大晦日の厨房は活気に満ちています。厨房職員全員で翌日に迫った元旦のお節料理作りに精を出しています。

元旦の朝は、初日の出を拝む事から始まります。行ける入所の方々は王寿園の屋上が上がって、海の彼方から登ってくるお日様に手を合わせ今年一年の無事を祈ります。そしてお節料理の朝ご飯。お品書きと祝箸を添えて「あけましておめでとうございます！」の声とともに手元に配膳されます。

お重箱の中身は、まめ（健康）



で暮らせるように黒豆。子孫繁栄を願って数の子。豊年豊作を願って田作り。出世魚の鰯にあやかっけてブリ照り焼き。黄金に恵まれるよう栗金団。華やかでしゃれた伊達巻き。お祝いの水引きにちなんで紅白なます。黄色と白の色合いが錦に通じる錦卵、などなど。お正月らしく彩りもきれいで皆様に大変喜んでいただいています。おいしいお料理を食べて新しい年の門出をしていただきます。

お節料理が済んだ頃に、施設長がお屠蘇を持って各階をまわり入所の皆様に新年の挨拶をされます。皆様にとって今年はどうなる年になるでしょうか。今年一年の無事を共に祈りたいと思います。

小松原 ショートステイサービス

今年の二泊旅行

SS副主任 川合 久美子



今年の一泊旅行は、6月28日（29日に蒲郡の「ホテル竹島」へ、利用者20名（特養17名、ショートステイ3名）の方々が参加されました。

当日は天候にも恵まれ、旅行日和となりました。王寿園を出発し、約45分でホテルへ到着、その後はホテル横の水族館へ行くグループと、部屋でのんびりするグループに分かれて行動しました。そしてお楽しみ夕飯。宴会場のテーブル一杯に並べられたお料理の数々。乾杯をする前に食べ始める方もみえました。普段とは違った食事を目で見て楽しみながら、ゆったりとした時間の中で味わっていただきました。



翌朝は、バイキング形式の朝食をとった後、お土産を買ったり外の景色を眺めたりから、帰園となりました。来年も皆様の参加をお待ちしています。

特養・SS合同食卓

SS主任 河合 啓太

今年も、毎年恒例となっている「食卓会」を9月27日と10月4日に曙町にある「ひな野」にて行いました。特別養護老人ホームの入所者様と共にショートステイご利用者様も参加されました。

高齢になり、様々な理由により外食の機会がなくなると、食卓会を今年も行い、普段と違う料理、空気、雰囲気を楽しみながら食卓をすることができました。皆様と一緒にお腹が一杯でもう食べられない」と笑顔で言われていました。



小松原 デイサービス



敬老会

九月十八日の敬老の日を前に、小松原デイサービスでは十一日から十六日の間、敬老会を行いました。皆様、前の週より楽しみに待って下さっていた様です。

まずは長寿のお祝いですが、九十歳以上の利用者様方には記念状の他に、口頭でお祝いの言葉を述べさせて頂きました。又、その他全員の利用者様方にも日頃の感謝の意を込め感謝状を贈らせて頂きました。出し物も職員のみならず利用者様方やボランティアの皆様参加を頂き、大変にぎやかなものになっております。皆様一人一人が力を添えて下さり敬老会を盛り上げて頂くことに感謝いたします。来年度もお楽しみに!!



出し物のついでに

たまには、芸達者な職員の姿を見て楽しんで頂けたらと思ひ企画しました。日替わりで出演する職員を分け、相手と相談しながら何をやるか考えてもらいました。手品を披露する者、大正琴を演奏する者、他にもロックソウランやひげダンス、さるまわしなど多彩な出し物で、複数利用をして下さっている利用者様が飽きない様に心掛けております。ありがたいことにとっても好評で、違う曜日の芸を見たというお言葉もたくさん頂いております。



運動会

十月第一週目に運動会を行いました。利用者様に色を塗って頂いた国旗を天井に飾りこの日を迎えました。赤・白チームに分かれ、まずは両キャプテンによる選手宣誓。二種目は綱送り、二種目め玉送り、二種目は応援合戦と続きました。これらの競技は百点満点で計算し、職員審判のもと点数が加算されました。最後は恒例になっているパン食競争です。パンの袋には点数が貼っており、それぞれのチームに点数が加算され勝負が決まります。優勝チームには代表者二名にてくす玉割りをして頂いております。「楽しかった」というお言葉と笑顔が多くみられ今年もにぎやかな運動会となりました。



「みのりの会」委員より

「みのりの会」の委員として、出展作品の展示に携わり作品の多さに驚きました。習字や塗り絵、壁の絵、個人で出展して下さった紙人形やお地蔵様、ぬり絵の絵本など、どれもこれも日々利用者様方が心を込めて作られた作品で、皆様方の人生観や個性があふれでている様です。観ていると自然に心が和んでくるものばかりです。「みのりの会」終了後も一週間展示させて頂き、昼休みに廊下を散歩しながら皆様方に鑑賞させて頂きました。ご協力ありがとうございました。



新年を迎え相談員より一言

「正月に孫が遊びに来たよ」「おせち料理は美味しかったよ」利用者様のそんな喜びの声を聞くのが、私たち職員にとって新年の楽しみであります。どんなお正月でしたか？今年は何んな年になりますか？皆様の笑顔が絶えぬよう、デイサービスの職員は日々笑いのネタを考えています。まずはデイサービスで初笑い。それからゆつくり今年の抱負をうかがう事にしましょう。

デイサービスでは今年も充実したレクリエーションを計画しております。職員の技術も向上し、ますますパワーアップしたレクリエーションにどうぞご期待ください。そして忘れてはならないのがボランティアの方々です。「琴笠会」の皆さんによる月に一度の大正琴のレッスンや、「ぱびぷポソレク」の皆さんによる、体操や工作を取り入れた音楽レクリエーションは、すっかりお馴染みとなっております。

利用者の皆様、ボランティアの皆様、どうぞ今年もよろしくお願ひ致します。



避難訓練



今回の避難訓練では非常食「カンパン」の試食、担架試乗にて乗り心地の確認、地震での大津波を想定しての避難方法や避難経路の確認を行いました。

カンパンの試食では「美味しい」という声も聞こえてきました。又、担架の試乗では、「安定していて安心して乗れる」との意見が聞かれました。避難経路の確認では、階段を實際に上がって頂いた上、足腰の強化運動を取り込み利用者様方への意識付けにつながる様試みしました。皆様方の関心の強さを伺うことが出来、意味深い訓練になったと思います。

その他のレクリエーション



味噌の出来は

昨年二月に仕込んだ味噌がそろそろ出来上がりでしょうか。良い香りがする様になりました。大豆を柔らかく撫でてつぶした物にこうじと塩を混ぜただけなのに美味しい味噌になるのは不思議です。作って下さった皆様の気持ちがかもっているからでしょうか。前回は味噌汁でいただきましたが、今年は何の様にさせていただきますでしょうか。お楽しみに！



王寿園

明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願ひします。

昨年4月からの介護保険改正に伴い、その影響は特に要介護度の低い利用者にとって大きくなっております。「要介護」から「要支援」になったことで地域包括支援センターへ担当が変更になり、戸惑いや不安の声も聞かれますが、介護保険が目指す「その人らしさの保証」が実現できるよう、各担当者との連携を図らせていただきます。

また当センターでは疾病や認知症、閉じこもりなど、介護面での問題が生じましたら、問題解決に向けご利用者様やご家族様と緒に考え、個々の能力に応じて自立した生活が送れるようケアプランを作成致します。お電話を下されば日時を調整のうえ訪問させていただきます。

◆開設時間
月～金 8時30分～17時30分

二つの灯かり



ケアハウスくろしお入居者 **山本 雅子**

平成七年の初冬だった。当時の理事長様の運転で奥様と友達、そして私はご夫妻とは初対面であったが誘われて、車に同乗させて貰い王寿園を案内して頂いたご縁があった。

緑の中に白亜の建物、立派な設備、海の見える素晴らしい環境にすっかり魅せられた。そして平成十四年十二月に入居させて頂いたのである。もう四年が過ぎようとして居る。

今年の三月中旬ごろ夜八時過ぎに二男から電話が入った。今からそちらに行つて直接話をすると告げられた。そのもの言いは割に明るかったが、それでも夜暗くなつてから来た事は無いのに此處まで大丈夫かと案じつつ、もう薄暗くなつて居た玄関を出て、花壇に腰かけ二男を待った。三月の夜風はまだ冷たく私はマフラーを結び直した。

私の気配に気付かれた当直の女性の職員の方は事情を話す私に、外は寒いから中に入って待つて居て

下さい、暗いから外灯もつけます、と言われた。その明りに難なく導かれ、三十分程で用事は済みますという二男に、外灯はこのままにして置きますと言われた。

その頃長男が手術をしてまだ入院中であつたが、「医師から回復に向かつて居ると説明があつた」とか、「この前来た時、おふくろ少し痩せて虚ろな顔をして居たから今夜は直接会つて様子を見たかった、余り心配するな」と言つて軽く肩を叩き部屋を出て行つた。

職員さんにお礼を言つて帰つてゆく息子の車が上の道を走り、その尾灯が見えなくなるまで外灯をつけて居て呉れた。

これも仕事のうちですからと言われるかも知れない。でもその心遣いと温かさを、人生長く生きて老いゆく今、何らかの不安と世間との幾許かのしがらみを持つ者にとつて、受けている恩恵に癒されて居る事を疎かに思つてはならない、と痛切に感じた夜であつた。

部屋に戻つた私の胸には二つの

灯かりが灯つて居た。職員さんの温かいオレンジ色の灯かり、そして母の身を心配して呉れた息子の優しさ、その二つの灯りが胸の奥で潤み始め、温かい涙が頬を流れた。

今もその時の職員さんのお名前には存じ上げない。若し他の方であっても、きつと優しさを示して呉れたであろうと思つて居る。

今後も自己管理をしつかりして体調に気を配り、少しでも長く此處に暮らせようようにと願つて居る。ありがとうございました。



山本雅子様作品



「パッククッキング」



今年、8月にNHKで放送されました画期的な調理方法のご紹介です。

パッククッキングとは？

- 1 介護を考える人たちの間で今、注目されている調理法が「パッククッキング」です。
- 2 食材や調理液をポリ袋に入れて空気を抜き、炊飯器で調理します。炊飯器を使用することで、加熱中に熱源の近くにいる必要がなく、下準備さえしておけば、誰でも簡単・安全に調理することができます。
- 3 1～2人分までの主食（ご飯）と主菜（おかず）を同時に作れ、ご飯とお粥を同時に炊くこともできます。

肉じゃが

●材 料(2人分)

牛うす切り	80g
じゃがいも	160g
玉ねぎ	100g
人参	40g
水	120ml
砂糖	小さじ4杯弱
醤油	小さじ4杯弱
バター	大さじ1杯
煮干し	5尾



- 1 ジャがいもは皮をむき、1/8にカットして水にさらす。
- 2 牛肉は適当な大きさに切り、水に入れほぐして水分を切る。
- 3 玉ねぎはくし型に切る。
- 4 ポリ袋に①、②、③と調味液を入れてしっかり結び、ご飯（1合）と一緒に炊飯モードで加熱する。
 ・ご飯の水加減は、通常と同じ
 ・5合炊き以上を使用して下さい

*他、ひじき、かぼちゃ煮、里芋煮、きんぴら等調理出来ます。

新生訪問入浴

サービスを目指して

訪問入浴主任 小林 克泰

平成18年4月より、小松原訪問入浴サービスと弥生訪問入浴サービスが合併しました。

突然のことにも拘わらず、皆様にはご理解していただけましたことを厚く御礼申し上げます。体制が変わったことにより、利用者の皆様へご家族様には、今までサービスを行っていた職員が代わってしまうことで不安を抱かれた方もあったかと思われまます。

そこで、私共訪問入浴に携わる職員はサービスという言葉を重点に置き、利用者様の満足、私共の喜びとは何かを考えました。それは、利用者様へご家族様の「ありがとう！」や「お疲れ様！」とおっしゃっていた言葉が、表情に表れていると思われまます。

そのため、我々職員はサービスを提供する上で、会輪（話）を通じてエンターテイメント性を持ち合わせた「入浴サービス」を行っていきたくと思っております。その、「会輪サービス」とは何か？それは、安全に入浴していただくことは勿論のこと、会話、コミュニケーションを通じて楽しんでいただき、文字通り輪を大切に入浴していただくことだと思っております。笑顔でいてくれる、そして喜んでいただく。「楽しみに待っていたよ。」「とても楽しかったよ。」という言葉がいつでもいただけるよう、職員一同明るく前向きにサービスを行っていきたく思っております。そして、その笑顔が私共の支え、向上心に繋がっていくのです。

デイサービスセンター

弥生王寿園

〜弥生の最年長は白寿〜

今年の敬老会も、様々なボラン
ティアの方に来ていただきました。
日本舞踊あり、ハワイアンダンス、
太鼓ありと多彩でした。

今年は、始めてオカリナの演奏
も聞かせていただきました。やさ
しい音色で皆さんもききほれてお
られました。

利用者さんも参加できるものも
あり、太鼓をたたいたり、踊った
りされている時は、とてもうれし
そうな顔をされていました。

おりしも皇室の紀子様のご出産
もあり、よりめでたい雰囲気をと
ディスプレイには金のはばたく鶴
と金屏風。食事の御膳にカードを
添えました。



▲皆さんとても真剣、そしてうれしそうに
たたっています。



▲華やかなハワイアンダンス
腰の振り方もなめらかです。

問い?

さてこの人に見覚えが
ありますか?

誰でしょう?



今年の新人

あろおはあ〜



先生の洗練されたすてきな
踊りを堪能しました。

ファイフラオ・レイアロハ



ちゅうぼうだより

利用者の皆さんそれぞれのお口に合った食事
季節の食材を使用し、食べやすい形態で
提供するよう努力しております。

豆腐入り白玉だんご

材料 (18個分)

白玉粉	250g
絹ごし豆腐	300g
抹茶・食紅	適量
粒あん	適量

作り方

1. ボールに白玉粉と豆腐を入れ、手で豆腐をつぶしながらよく混ぜ耳たぶくらいのかたさに練る。
2. 生地を3等分に分け、1種類は抹茶、1種類は水で溶いた食紅を混ぜる。
3. 3種類の生地をそれぞれ6等分にして丸める。
4. 沸騰したたっぶりの湯の中に入れ、浮いてくるまでよくゆでる。浮いてきたものから順に取り出し、冷水にとり、水けをきる。
5. 冷めたら粒あんとかからめる。



パッチワーク

皆さん、だんだん難しいデザインをこなすようになりまして。すてきな作品でしょう？



※料理教室で皆さんに作っていただいたメニューです。おやつで出したらとても好評でした。とても口あたりがなめらかで、栄養価は高いけれどヘルシーです。一度お試しください。

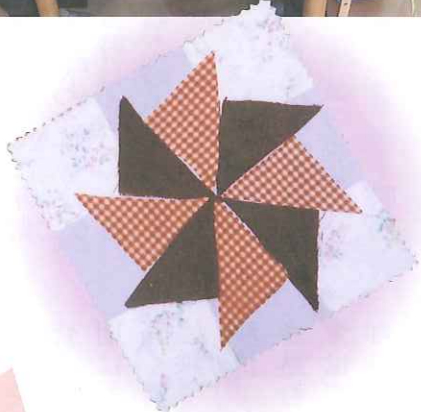


この絵は皆さん大変思い入れが強く、この箇所はこの人の担当と言うくらい、一生懸命に作って下さいました。なかなか満足できず作り直したり、貼り足して仕上げました。壁に貼ってからも皆さん口々に「いいねー」と喜んでおられました。

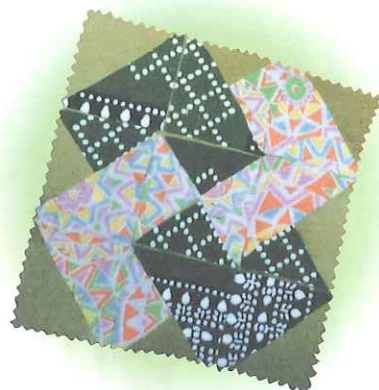
ある日の製作風景



▲春・夏を彩った壁の絵
—野原でいねむりをする少年少女—



私たちが仲よしです。仲よく写真を撮ってもらいました。





王寿園、くろしお、在宅サービス利用者様、職員の皆様、明けておめでとうございます。また法人の役員の皆様には施設の運営に関してのご理解と貴重なお意見をいただき心より感謝申し上げます。今後とも引き続きご指導として健康管理には十分留意をしていただき充実した日々を送られます事をご祈念申し上げます。

王寿園も今年で12年目を迎えることになり、今後ますますの法人の発展と福祉サービスの充実を図って参りたいと職員一同、今一層気を引き締めてがんばる決意でございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

年始のご挨拶の文章にはすこ

しふさわしくないかもわかりませんが、福祉の世界でも一番の問題とされています。そして高齢者の方をかかえる、ご家族にとっても重要な問題である認知症についてすこし考えてみたいと思います。

さて皆さん、認知症という言葉を知っていますか。痴呆症から認知症と言葉が変わりました。特にここ最近では社会的な関心もますます高まっております。現在日本の認知症の高齢者は約170万人、85歳以上の高齢者の4人に1人、要支援、要介護認定者のうち2人に1人が認知症の症状があります。

認知症の中でも脳腫瘍、硬膜下血腫、正常圧水頭症によって起こるものは、早期発見により直る可能性もあるので早期に受診、物忘れ外来、心療内科などがお勧めです。遺伝なども言われておりますが根拠はなく、しかし長生きの家系は認知症になるリスクは高くなると言えます。疑う症状として、性格の変化、物盗られ症候群、記憶障害【年

齢的なものもあり】

簡単なものもあり】
簡単に有効な質問として年齢を聞いてみる（おいくつですか？）。また受診される時は、どのような変化がみられたのかをメモをする。認知症になると老化のスピードが早くなり、食事の形態も変化【嗜好の変化、食がほそくなる事も】

そしてどのような事が予防効果になるのか：無理強いすることとはだめで当人が進んでやること、効果がつながると思います。

①音読、計算ドリル（注意力、集中力、短時間で効果ありです）

②本、新聞を読む

③マージャン、囲碁、トランプ

④行動性を加える（ダンス、水泳、散歩、筋力トレーニング）

最後に認知症は生活習慣病であり、ある日突然、認知症になるのではなく、それまで生活習慣の積み重ねが発症を招くので、脳を使わない人や体をあまり動かさない人、不健康な食生活の

人、閉じこもり非社交性の方も脳を使わないので要注意との事。皆さん当ではまった方は是非早期に対策を講じておれば症状も軽く済むか遅らせることになりました。発症すると自分1人では解決できません。多くの方を巻き込む事になります、どうかまず是可以する予防から始められたらいかがでしょうか。

尚、ご相談には、とりあえず受診する事から始められケアマネ、包括支援センターもご利用ください。



「1007年を迎えよう」

在宅部長 伊藤 康

昨年4月度においては、限られた財源を有効に活用するため、現行の各サービスの報酬・基準について、効率化・適正化の観点から見直し、また、介護保険法改正や診療報酬との同時改正に伴う医療と介護の機能分担・連携の明確化などの課題への対応が求められるという趣旨の「介護報酬改定」が施行されたわけである。

こうした状況や賃金・物価の動向等の昨今の経済動向、介護事業経営の実態、保険財源の状況、2005年度介護報酬改定等を踏まえ、制度の持続可能性を高め、保険料負担の上昇をできる限り抑制する観点から、全体でマイナス0.5%の介護報酬改定が行われた。昨年の改定では、高齢者の「尊厳の保持」と「自立支援」という介護保険の基本理念を踏まえた、基本的視点に基づき、各サービスの報酬・基準についての見直しであったことは周知のとおりである。

また介護保険の基本理念である「利用者本位」「高齢者の自立支援」「利用者による選択(自己決定)」それらを現実のサービス場面において実現することを支援するしくみとして、昨年4月より「介護サービス情報公表制度」が施行された

のである。

「新予防給付」の施行により、現実的に介護予防通所介護事業においては、「定額利用」による利用回数に縛られる状況にて、利用者及び事業者双方に不都合が生じており、また福祉用具貸与においては、要介護区分における電動ベッド等の貸与制限、訪問介護事業における、通院(乗降)介助に伴う制限等、これらの現況を鑑みると、当該基本理念である「利用者本位」「高齢者の自立支援」ではある意味「二律背反」の様相を呈しては

いないであろうか。それらの状況から介護保険制度という枠組み、諸法令の中で高齢者は如何に暮らし、介護保険事業者は如何なる運営をすべきなのか。正しく「走りながら考える介護保険制度」の過点は「暗中模索」であり、方向性は依然として「曖昧性」に支配されていると思われる。しかしながら、「利用者第一主義」を貫徹し、良質なサービスの提供、言わば「顧客満足」の徹底追及、また安定経営の維持、それらのことから、サービスの質並びに安定経営が「福祉事業としての両輪」であると考えるわけである。

終わりなき介護保険制度との闘争に、「競争市場における安定した良質なサービスの提供」、当法人における究極的テーマである。

新人紹介

小松原王寿園



厨房 中石 国昭さん
新入職員



特養 木下 希さん
ヘルパーより異動



特養 吉原 礼子さん
新入職員



特養 矢田部香菜さん
新入職員

弥生王寿園



HH 森 英子さん
新入職員



HH 幸地 裕子さん
特養より異動



HH 栢田 幸枝さん
特養より異動



HH 神村 典子さん
新入職員

白寿・百歳・王寿

平成18年9月18日現在

長寿を慶祝いたします!

王寿 101歳 荻原まつへ様



荻原まつへ様



小椋とくゑ様

百歳 100歳 小椋とくゑ様

白寿 99歳

田辺をぬい様

ケアハウス (最高) 95歳

中村ちづ様

卒寿 90歳

白井小ゆき様 石田 のぶ様
高城 美子様 小濱 高次様

傘寿 80歳

河合トシエ様 加藤とよ子様
本田 フミ様 井口 栄様

米寿 88歳



山田 すゑ様 山本美代子様
松野はな江様 飯尾 和子様
杵野 みさ様 増山さと子様
播磨キミコ様 玉置 ヒサ様
仲原ミサヲ様 山本 諭吉様

喜寿 77歳



鈴木 浅雄様
西原 武志様
伊藤 知子様
鈴木 和伸様
岡本 ぎん様

王寿會平成18年後期～平成19年前期行事予定

年度	行事	予定年月日
平成18年度	新年祝賀会	平成19年 1月 1日 (月)
	節分 (豆まき)	平成19年 2月 3日 (土)
	梅見会	平成19年 2月21日 (水)
	桃の節句	平成19年 3月 3日 (土)
	王寿園供養祭	平成19年 3月29日 (木)
平成19年度	創立記念日	平成19年 6月 1日 (金)
	納涼祭 (第12回)	平成19年 7月29日 (日)
	敬老・みのりの会 (第2回)	平成19年 9月30日 (日)



[撮影] ケアハウス 佐藤 和夫様

平成17年度決算資料等の閲覧が出来ます。希望される方は、遠慮なく事務所にお申出下さい。

「社会福祉法人王寿會が設置・経営する施設における苦情解決に関する要綱」にのっとり苦情を解決する為、次の3名の方々が第三者委員に任命されております。委員の方に連絡をとりたい場合は王寿會にお電話ください。
【中西芳夫様、山田正様、伊藤松太郎様】

発行
社会福祉法人王寿會

理事長 石原 愛子

〒441-3123 愛知県豊橋市小松原町字浜41番地
TEL.0532-21-3511(代) FAX.0532-21-3514
URL.http://www.oujukai.or.jp

製版/岡崎製版所 TEL.0532-53-5105
印刷/協同印刷 TEL.0532-45-4141

編集後記

皆さん新年おめでとうございます！今年猪の年で王寿園も一サイクルの12年を迎えました。昨今の世相には肌寒いものが多いですが、ここ王寿園の皆様は今まで通り、地上の楽園の如く不平・不満なく、みんな仲良く感謝の気持を持ち、いつまでも楽しく過ごしていただきたいと願っています。職員は夫々の持ち場でプロ意識を魂とし、今年も頑張ります。全ページカラー印刷で、昨年よりホームページでも閲覧できる事になった施設機関誌「かもめのたより」を今年もご愛読し、かつご期待ください。